

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	安心安全課 防災係【（電話 0561-63-1111・内線番号 165）】
第4次総合計画の 該当項目	2節8項 防災

業務の名称	自主防災活動支援対策事業			
(1) 根拠法令・条例	長久手町地域防災計画、長久手町自主防災組織設置要綱			
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 15% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：123人・日 (臨時雇用者延人数：0人・日)			
(3) 事業費 (人件費分を除く)	3,074千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))			
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	0% (平成20年度実績)			
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了 (予定) 年度	年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	自分の身は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守るという自主防災の理念から町として自治会を主体とした防災講習会の開催を支援すること。
②業務が対象とする住民 (地域、層)	町内自治会住民
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	自治会からの依頼を受け、内容によっては防災関係機関に依頼をし、防災講習会を実施。防災講習会を年3回、1回概ね30人以上で行った自治会に防災倉庫及び防災資機材を貸与。

④業務の実施結果 (平成20年度実績)	積極的な防災講習会の実施						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	防災講習会実施回数	17	27	43	36	
	2	防災講習会延べ人数	718	1,281	1,695	1,186	
	3						

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

防災に対する関心が高い自治会と、関心が低い自治会に分かれているので、関心の低い自治会の防災意識をどのように高めていくかが問題となっている。
そのため、防災イベントや広報・啓発により、防災意識を全町的に高めていく必要がある。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
町全体の傾向として防災に対する意識が高まってきたため、2基設置する予定だった防災倉庫を4基設置することができた。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) ④ 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	今後も住民の防災意識の向上を図るため、方法を模索し啓発していく。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	毎年3団体以上に防災倉庫設置する。
②改善時期	毎年前期中(4月~10月)に設置できるようにする。
③改善方法	年度の早い段階で設置予定団体を選定し、設置する